

原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る国際フォーラムについて (企画案)

2020.9.4 JAEA/ISCN

1. 概要

原子力平和利用の推進に不可欠な核不拡散・核セキュリティに関する理解の増進を目的として、毎年、国際フォーラムを開催している。本フォーラムでは、各国の政府関係者や核不拡散・核セキュリティの専門家による、時々の今日的な課題に焦点を当てた講演やパネルディスカッションを通じて、原子力平和利用と核不拡散・核セキュリティに係る種々の課題や方策について国内外の理解を深めるとともに、我が国及び原子力機構の核不拡散・核セキュリティへの取組を発信している。

今年度の国際フォーラムは、第1回核セキュリティ・サミット（NSS）から10年が経過し、第1回NSSのナショナルステートメントを受けて設立されたISCNが、今年の12月に設立10周年を迎えることから、この10年間のISCNの活動・成果を発信・共有するとともに、国際的な核不拡散・核セキュリティの課題・ニーズに関する議論を通じて、今後のISCNの役割・方向性についても議論を行う。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、従来の対面式ではなく、オンラインで開催する方向で検討を進めている。オンライン開催に伴い、フォーラム参加者との交流の機会等が失われるが、物理的な移動が不要で、フォーラム出席のために拘束される時間が短くなるため、より多くの聴衆の参加が期待される。

今回は、オンライン開催を活用し、国際フォーラム開始前の時間に国内の学生向けセッションを設け、核不拡散・核セキュリティ及びISCNの取組みに対する理解増進を図るとともに、大学との連携を深める取り組みも検討する。

2. 今年度のフォーラムの概要

(1) 開催形態

コロナ禍での新しい生活様式を取り入れるとともに、新型コロナウイルスの今後の見通しが不透明で、国外からの講演者等の招へいが難しいこと、再び移動制限の要請がだされる可能性もあること等を考慮し、無観客・オンライン・ライブ配信の形態で実施する。

オンラインで実施すること、想定している海外からの参加者との時差があること等を考慮し、半日（従来は丸1日）で開催する予定。

なお、11月に開催予定の機構報告会も、無観客・オンライン・ライブ配信で、また、時間を縮めて開催する方向で検討されている。

(2) 今年度のフォーラムのテーマ

今年度は以下のテーマで議論を行う。

「第1回 核セキュリティ・サミットから10年 ～ISCN が刻む「未来への Milestone」～」

第1回 NSS 及び ISCN 設立から10年を迎え、これまでの ISCN 及び関係機関の取り組みを共有し、国内外の核不拡散・核セキュリティの課題・ニーズに関する議論を通じて、ISCN の「未来への Milestone」を導き出す。

(3) 開催日時

2020年12月9日(水) 16:00～18:30(日本時間)

欧州 8:00～10:30(-8時間)、米国東時間 2:00～4:30(-14時間)

東南アジア・太平洋州 概ね2時間前後

(4) 開催方法等

- ・ 東京または東海の会議室を拠点にライブ配信・日英同時通訳あり
- ・ 国外の講演者等は可能な限りオンラインでライブ参加
- ・ 時差等でライブ参加ができない講演者等はビデオメッセージで参加
- ・ 視聴者はオンラインで視聴し、双方向性を考慮し、チャット機能等を用い質問等を受け付ける
- ・ ここ数年、国際フォーラムには150名前後が参加していたが、オンラインで開催することにより、アジア、欧州等からの参加、国内の学生等の参加が期待されることから、国内200名、国外100名程度の参加を目標に周知等を行う。

(5) ご協力頂く機関

従来、公益財団法人日本国際問題研究所、国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻、国立大学法人東京工業大学科学技術創成研究院 先導原子力研究所と共催で開催していたが、今回は、オンラインで開催すること、ISCN10周年に焦点を当てて開催することから、今回は、共催機関はなしで行う。

(6) 学生セッション

ISCN が講義を提供している大学等の国内の大学の教員・学生を対象とし、核不拡散・核セキュリティに関する講義を行うとともに、本分野に対する学生の期待・意見を聴取し、その内容を国際フォーラムのパネルディスカッションで紹介する(本セッションの実施は、大学の講義等のスケジュールの調査を行い、ある程度の参加者が得られる見通しが得られた場合に実施する)。

(7) 主なプログラム

学生セッション（14:15～15:45）国内学生向け

開会挨拶（16:00～16:05）

児玉敏雄 JAEA 理事長

関係機関からのメッセージ（16:05～16:30）

候補機関：文部科学省、外務省、米国 DOE/NNSA、IAEA、EC/JRC、ACE 等
（各 5 分程度）

（第 1 回 NSS 及び ISCN 設立後 10 周年を迎え、これまでの各機関における取組みの紹介、ISCN の取組みに対するメッセージを頂く。）

ISCN の報告（16:30～17:00）

直井 洋介 JAEA・ISCN センター長

（ISCN の 10 年間の成果、果たしてきた役割を紹介する。）

パネルディスカッション（17:00～18:25）

パネリスト候補：文部科学省、外務省、DOE、IAEA、EC/JRC、ACE、JAEA 等

パネルディスカッションのタイトル案

「核不拡散・核セキュリティの未来に向けた「課題整理」と「求められる人材の profile」」

（各パネリストから現在の核不拡散・核セキュリティに係る課題と必要な対応を述べてもらい、議論を行う。ISCN トレーニング参加者からのメッセージ、本国際フォーラム前に開催した学生セッションでの要望を踏まえ、この分野でどのような人材が求められるのかを明らかにし、そのための人材育成をどのようにしていくべきかについて議論し、ISCN が行うべき事項を明らかにする。これらの議論を通じて、ISCN の取組みの方向性等（「未来への Milestone」）を導き出す。）

閉会挨拶（18:25～18:30）

青砥 紀身 JAEA 理事

以上